

# ともえ 2040

発行:みよし学園コミュニティ・スクール  
(事務局:市立三次中学校)  
令和5年1月10日  
No. 34

## コミュニティ・スクールスタートから9か月が過ぎました！

明けましておめでとうございます。本年も三次中学校区の児童・生徒をどうぞよろしくお願いたします。さて、新しい年を迎え、昨年4月に三次中学校区3校がコミュニティ・スクールとなり9か月が経ちました。コミュニティ・スクールとは「学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え“地域とともにある学校づくり”を進める法律に基づいた仕組み」です。これまで10月に実施した「みよし学園一斉ボランティア清掃」など河内小、三次小、三次中と一緒にやってきた活動の他に、各校において地域と協働した様々な活動が行われました。

そこで、今月の「ともえ2040」では、これまで学区内小学校（河内小、三次小）で行われた様々な地域協働活動の中で、象徴的な取組を振り返ってみたいと思います。

### 地域の自然の中で、地域から学ぶ！～わくわく体験活動～ 河内小

河内小学校では、地域の方の強力なバックアップのもと、7月に「わくわく体験活動」を行いました。

1日目は、まず、学校でいかだの製作を行いました。地域の方に教えていただきながら、子どもたちは進んで作業に取り組み、立派ないかだが2艇できました。その後、東河内町の「みんなの家」へ移動しての体験です。最初に、竹を材料とした箸を手作りしました。小刀を使い、慣れない手つきで竹を削っていきませんが、指導していただいたおかげで、全員、作ることができました。そしていよいよ野外炊飯です。飯ごう炊飯とそうめん流しチームに分かれ、晩ご飯のメニューである「そうめん」と「おむすび作り」をしました。初めての飯ごう炊飯でしたが、とっても美味しそうに炊き上がりました。そうめんも湯がき上がり、いよいよソーメン流しの開始です。次々に流れてくるソーメンに舌鼓を打ちながら「美味しい！」と大満足の夕食となりました。



さて1日目のメインイベント、「キャンプファイヤー」です。講師に西河内の今福さんをお迎えし、日の暮れかかる河内の自然の中で火を囲み、歌やレクリエーションを楽しみました。楽しい時間を与えてくださった指導員の方々に感謝です。夜は、「みんなの家」に宿泊し、広々とした古民家でのびのびと過ごしました。

2日目は、いよいよ手作りいかだでの川下り（かっぱ道場）です。2グループに分かれ、さあ出発です。今年は学校前から約2kmのアドベンチャーコースです。所々に急流の箇所や岩場があり、ドキドキする場面もありましたが、地域の方のフォローや、グループで協力することで乗り切りました。そしてゴール。冒険終了です。「楽しかった～」「もう一回やりたい！」など興奮気味の子どもたちでした。

新型コロナウイルスにより諸行事が見送りとなる中、子どもたちにとって貴重な挑戦の場となり、達成感を得る体験となりました。今回の体験活動は、コミュニティ・スクールの取組の一環で実施しました。当日まで、計画・準備等で大変お世話になった地域の皆様、「みんなの家」のスタッフの方々に改めて深く感謝申し上げます



## ともえ教室(コミュニティ・ルーム)を地域と共に！三次小

今年度、1階の一番南側の教室をともえ教室という名前のコミュニティ・ルームとして開設しました。地域の皆様にも気軽に学校に来ていただき活用する場、また児童の居場所や交流の場としても活用したいと考えました。そのことでみよし学園コミュニティ・スクールの活動も推進したいとも考えています。



今年度はこれまで PTA の役員会や、家庭教育支援チーム「きりこちゃん」の話し合いに使用したり、児童のランチタイムスタディーの場としても活用したりしています。PTA 役員さんや「きりこちゃん」チームと活用について話し合った中で、4階にある図書室の本の一部をともえ教室に移すことで、より図書を借りやすくなること、ともえ教室が良い児童の居場所になったり地域の皆様に活用いただける場所になったりするのでは・・・、

という意見が出ました。それを受けて、図書委員会の児童と「きりこちゃん」チームの皆様と三次市立図書館、三次市教育委員会の皆様と一緒に図書委員会の活動として話し合いを行いました。

話し合いの中では、「児童一人一人がおすすめの本を持っておりたらいい。」「人気のある本は、統計に出てきていて、知ることができます。」「寝転がって見られるたたみコーナーもあったほうがいい。」いろいろな意見が出されました。市立図書館の方からは棚の上を2段にすると、よりたくさんの本が置けます。」とか、「本棚の奥のスペースを何かでうめるようにすると、本の背表紙が前に出て見やすくなるし、取り出しやすくなります。」「図書委員会の皆さんで、おすすめの本のポップを作るといいですよ。」などのアドバイスをいただきました。図書委員会の児童もたくさんの意見を出して活発に話し合っていました。ピオネットの取材もありましたが、児童がしっかり意見を言うことに感心されていました。児童と「きりこちゃん」チームの皆さんとの良い交流になりました。

3学期からさっそく取り掛かろうと考えています。今後の図書委員会の活躍も、ともえ教室の活用も楽しみです。



「ともえ 2040」へのご意見やご感想、子育てやまちづくりに関するご意見等を自由にお寄せください。

【問い合わせ・意見送付先】市立三次中学校 TEL 0824-62-2896 FAX 0824-62-2899

E-mail miyoshi-j@school.miyoshi.hiroshima.jp